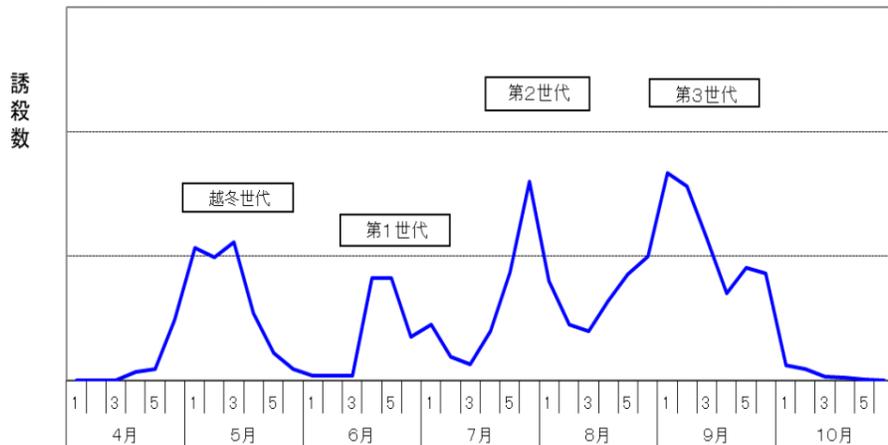


# スモモヒメシクイのフェロモントラップ誘殺消長（令和7年（2025年）調査）

病害虫防除部

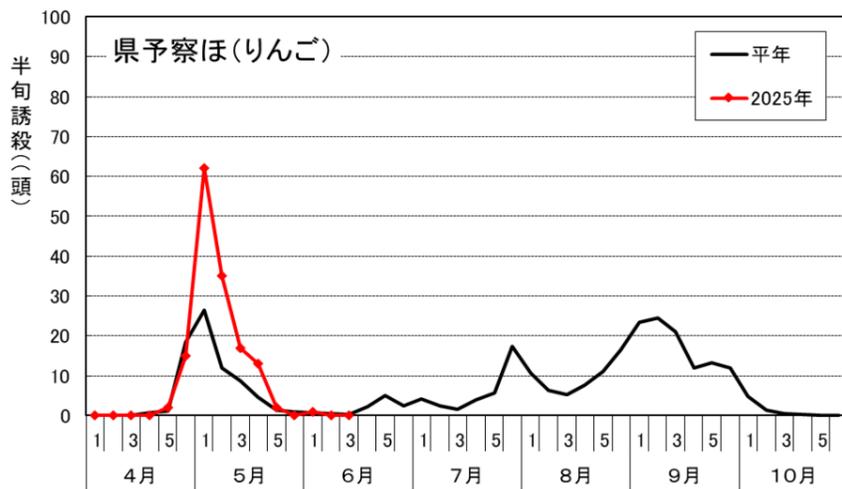
過去10年間の消長模式図（果樹試験場内 県予察ほ）



## 【発生生態と防除のポイント】

- ・年3～4回発生する。
- ・越冬世代成虫は4月下旬～5月上旬、第1世代成虫は6月下旬～7月上旬、第2世代成虫は7月下旬～8月上旬、第3世代成虫は9月上旬に発生する。
- ・日本すももは、第1世代、第2世代の卵及びふ化幼虫の防除を行う。  
防除適期はそれぞれ5月上旬～6月上旬、6月下旬～7月中旬であり、10～14日間隔で防除する。
- ・りんごは、第3世代の卵及びふ化幼虫を対象に、8月中旬頃から5～7日間隔で防除する。

## ○県予察ほ（須坂市 果樹試験場）



### 【調査地点】（標高約350m）

- ・須坂市 長野県果樹試験場（りんごほ場）
- ・平年は2015年～2024年の平均値

### 【コメント】

- ・4月第5半旬より始まった越冬世代の誘殺は、5月第5半旬でほぼ終了しました。
- ・越冬世代の総誘殺数は平年より多かったです。

## ○須坂市（病害虫防除部）



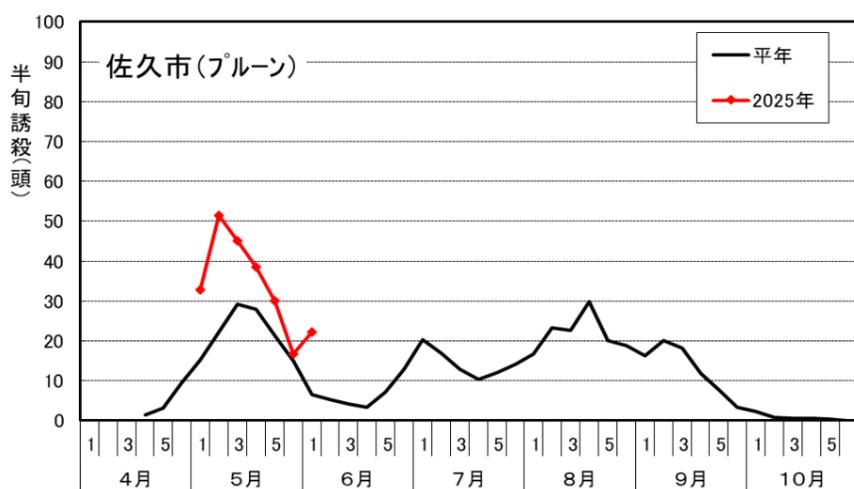
### 【調査地点】（標高約370m）

- ・須坂市（日本すももほ場）
- ・平年は2015年～2024年の平均値

### 【コメント】

- ・越冬世代の誘殺は4月第6半旬より始まり、5月いっぱいではほぼ終了したが、本年は明確な誘殺のピークがみられず、ダラダラした発生となった。

## ○佐久市（※佐久農業農村支援センター調査協力）



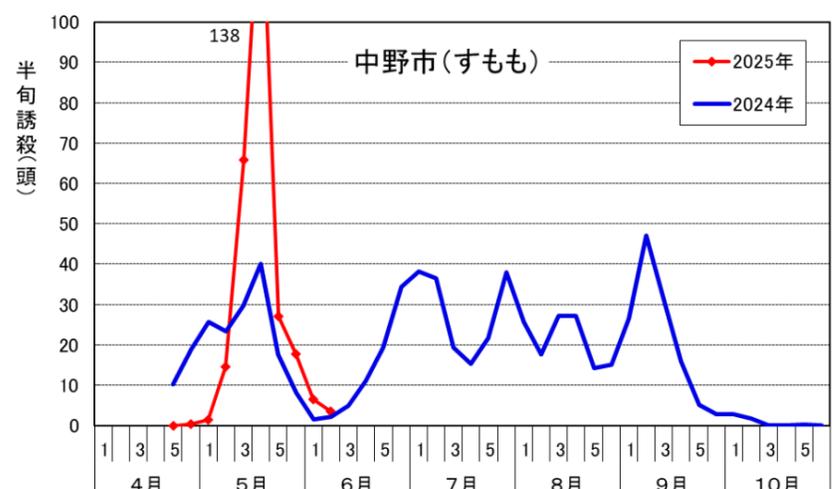
### 【調査地点】（標高約730m）

- ・佐久市（プルーンほ場）
- ・平年は2015年～2024年の平均値

### 【コメント】

- ・5月より観察を開始し、すぐに越冬世代の誘殺ピークがみられた。
- ・他所と異なり、越冬世代の誘殺の完全な終息は6月に入ってもみられていない。

## ○中野市（※北信農業農村支援センター調査協力）



### 【調査地点】（標高約350m）

- ・中野市（日本すももほ場）
- ・2024年からほ場を変更したため、平年値なし。

### 【コメント】

- ・越冬世代の誘殺ピークは5月第4半旬に見られ、ピークの誘殺数は今年の約5倍であった。
- ・6月第2半旬には越冬世代の誘殺がほぼ終了した。